

視点を変えてみたら、との思いで、生きものとのお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○③②

プランターの植物に水をやっていて、ふと思った。こんな所で、ぽつんと花を咲かせていたその小さな花一つ一つが、もれなく実を結んでいる。つまり、いつの間にかここをチョウなり、ハナアブなり、何かわからないけれど、昆虫がやってきて、花粉を運んでくれたのだということ。これってすごいことだなと、改めて感心したのです。道端の草花も、公園の樹木も、山の木々も、畑の野菜も、(ほぼ) もれなく実を結んでいるということは、つまり、虫がそこを訪れ、花粉を運んでくれたということになる。花粉を運んでもらう方法は、他にも色々あるわけですが、それはそれとして、とにかく、虫たちの働き、“まめさ”は凄いなあと、今更のように思ったのでした。と同時に、生きもの同士の関係も、想像を超えた不思議さに満ちているのだろうと思わされたのでした。くさんじゃく>



百日紅（サルスベリ）の花と実



定期的な観察日時、変更します

★都市公園で自然観察会 87★

春日公園で、猛暑の夏を、ゆっくりと観察します。

☆日時 8月18日（土） 集合10時～解散12時

第3日曜日の午後から第3土曜日の午前中に変更します。

☆場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-tamura@nifty.com

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会

(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁／

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

自然案内舎(有)クラブード内 TEL & FAX: 092-400-1765

URL: <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

8 / 19 (日) 9 / 16 日 (日)
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：8:00～11:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

8 / 26 (日) 9 / 23 (日)
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：8:00～11:00
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

9 / 2 (日)
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：8:00～11:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

9 / 8 (土)
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
問合せ：092-573-1827（森健児）

9 / 9 (日)
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

9 / 4 (火)
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：旧売店前
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

8 月はお休みです。



福岡植物友の会

8 / 19 (日)
岳切（たつきり）溪谷（大分県宇佐市）
問合せ：佃 昇（092-662-2983）
参加は有料 詳細はお問合せ下さい



三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

9 / 1（第1土曜日）
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円
参加された方には新しい「自然観察マッ
プ」も差し上げます。

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

観察会や様々な生きものの情報を載せています



モンクロシャチホコの鱗粉 三国・松永



コマツナギ 三国・松永

和白干潟を守る会 主催

8 / 25 (土)
守る会定例会議
時 間：10:30～
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

8 / 25 (土)
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

久留米の自然を守る会

10 / 14 (日)
ネイチャーゲームと自然観察会
時 間：10:00～
集 合：森林つつじ公園
問合せ：<http://kurumenoshizen.net/>

2018年7月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、7月1日（旧暦5月18日）～7月31日（旧暦6月19日）までのデジカメ日誌です。



7月1日（旧暦5月18日） 筑紫野市天拝坂
ハシボソガラスの家族である。ここ半月ほどガアガアと声
だけはいつも聞こえていた。真ん中の2羽が幼鳥で、両端
がその両親か？ 幼鳥はいつも赤い口を開けて餌をねだっ
ていた



7月10日（旧暦5月29日） 筑紫野市天拝坂
ネットで調べると、ムネアカトゲコマユバチ♀らしい。可
愛い顔をしているがカミキリムシの寄生バチのようだ。



7月13日（旧暦6月1日） 筑紫野市天拝公園池上池
カイツブリの親子。親は盛んに潜って給餌していた。この
時与えたのは小魚に見えた。



7月2日（旧暦5月19日） 筑紫野市天拝坂
ムラサキシキブの花が咲いた。もとは実が沢山つくこと
から「ムラサキシキミ」と呼ばれていたらしい。紫式部の
名をもらったことで、優雅なイメージになった。



7月7日（旧暦5月24日） 福島県の菜の花の種を頂いた
菜の花プロジェクトネットワークというものがある。チェル
ノブイリ以来、土壌のセシウムを吸収して土壌浄化を行う植
物として、福島復興支援を目的にナタネ播種事業をされて
いる。写真はその種である。放射能汚染に苦しんでいる南相
馬が須賀川のどちらかわからない。菜の花が吸収したセシウ
ムはナタネの油脂部分には吸収されず食用にしても大丈夫
なことが証明されているという。



7月11日（旧暦5月28日） 筑紫野市天拝坂
3cm弱のオオヨツスジハナカミキリ。普通種のようながな
かなか見ない。東京では準絶滅危惧種らしい。

くすのき 2018年8月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

春日公園の自然観察会 6/17 (日) 晴れ、14時から16時まで、参加者は3名。

公園の中央にある自然あそび館を出て、調整池ではトンボの仲間を探した。飛び回るコシアキトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ショウジョウトンボを見かけた。ところが、イトトンボの仲間を見かけることが出来なかった。まだ、時期尚早か、微妙に生息環境が変化したのか、次回しっかり探したい。池にカワセミ (♂) が出現、探餌に来たのか。



シオカラトンボ (♂)



ショウジョウトンボ (♂)



カワセミ (♂)



オカトラノオ



ツボミのネジバナ

熟したヤマモモ

前回自然風庭園の一角のシャリンバイの植え込みに、ツルウメドキ、サルトリイバラ、カニクサ、オカトラノオ、イヌビワなどを見かけたが、オカトラノオの白い花が咲いていた。この広い公園で、この花を見かける場所は、ここだけのように大好きなネジバナ (モジズリ) がそろそろ開花し楽しめる頃なので、探しながら散策。昨年見かけた調整池の周辺、自然風庭園、野外音楽堂周辺を歩き、漸く一株のツボミを発見できた。これからが楽しみだ。ヤマモモの実はおいしかった。注意して観察したいものです。クヌギをかじるオオスズメバチを見かけました。



5月号4ページの画像のヒメモンシデムシとあるのは、**ヨツボシケシキスイに訂正します。** 報告 田字草

窓越しの自然観察 26 ～熱暑の夏～



寺内ダムの下流域に住む知人から実を付けた珍しいハナイカダわけてもらいました。花の時期に見た事がありますが、このように大きく結実したのを見るのは始めてです。変種にリュウキュウハナイカダ、タイワンハナイカダがあるそうですが、これは *Helwingia japonica* ではなく同属の ヒマラヤハナイカダ *H.himalaica* だそうです。ダムサイトで見かけるとは耳にした事はないので、園芸種として育てているのでしょう、(ダムサイト住人 2018/7/30 記)

春日公園での自然観察会（7/15 の午後）報告

晴れて暑かった。猛暑でしたが、2人で歩きましたが、暑さに負けて、早めに終了しました。

観察は、調整池でトンボの仲間を観察した。シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、チョウトンボ、ウスバキトンボ、コシアキトンボをみかけたが、昨年よく見かけたイトトンボの仲間を全く見かけませんでした。何か生息環境に変化があったのでしょうか。池の水は澄んでいてオイカワの群れを見かけた。そばの草地では小さな青い花ヒナギキョウ、花



の盛りの終わりでしょうかネジバナを見かけた。公園のそばを流れる牛頸川に回り、ソクズの花とアオサギを見かけました。報告 田村耕作



投稿：山翡翠 緊急のお願い

私は約 20 年前に、屋久島・いなか浜でのウミガメ産卵調査ボランティアに 2 年連続トータル 2 ヶ月ほど参加していました。当時はウミガメ研究会という名称で、現在は NPO 法人になっていますが、以前、田村さんが記事にされていた通り、

「NPO 法人屋久島うみがめ館」は残念ながら解散が決まっています。しかし、運営を引き継ぎたい方が現れて、それに伴い緊急にスタッフ募集されています。なんとか今月（8 月中）に確保できれば、運営継続の可能性が高くなるそうです。

うみがめ館が解散してしまうと、これまで館が積極的に行ってきた保護活動が実施されなくなり、調査データ蓄積や過去との比較ができなくなり、ウミガメが再び絶滅の危機に瀕するかもしれません。仕事や条件面は厳しいと思いますが、自然豊かな南の島で生活できるチャンスです！何卒、ご友人や知人への声掛けと、フェイスブック等での情報提供をお願い致します！！

以下、フェイスブックでの呼びかけ文です。

うみがめ館は 12 月で解散の決議を行う予定であります。うみがめ館の運営を引き継ぎたいと母親が地元永田出身の人が名乗り出てきました。東京で会社経営、うみがめ館にも訪れてきたことがあり、解散すればウミガメの保護が後退するとの意向でした。継続していくためには、事務局スタッフがあと 1 名は必要です。

ウミガメの好きな方、アカウミガメの産卵地で世界的に有名な屋久島で働きませんか・・・。

<https://ja-jp.facebook.com/yakushima.umigamekan/>

NPO 法人屋久島うみがめ館事務局 <http://www.umigame-kan.org/>

〒891 - 4201 鹿児島県熊毛郡屋久島町永田 489 - 8 Tel & Fax 0997-49-6550 <電話：8：30-17：30>

メール：umigamekan@m7.dion.ne.jp

会員 渋谷和美さんからの投稿

先週土曜(7/21(土))早朝、驚くような澄みきった朝、この時期にこんなに水平線見えることも、ましてや沖ノ島と小呂島が見えることはないのです
パノラマ撮影 大峰山より

右が沖ノ島、左が小呂島

(編集者が加えた白い点の上に島影あり)



お願い 自然観察指導員の講習会

2018年12月1日(土)から2日(日)に、国立夜須高原青少年自然の家で開催予定
ネイチャー佐賀、熊本県自然観察指導員連絡会、ナイス福岡の3団体で進めています。

皆さん、多くの参加者を紹介してください。チラシによる広報もいいのですが、会員の皆様の推薦による募集が最も効果的のようです。
また、講習会の準備、夜須高原での実施には、会員の皆様の協力が必要です。協力できそうな会員さんは、連絡をいただけませんか。
現在、3名の会員から、連絡がありました。口コミによる広報がもっとも効果的と言われています。会員の皆様、よろしくお願いいたします。



休息中のチョウトンボ、

連絡先：090-8220-6160（携帯）、

メールアドレス：kurabird-.tamura@nifty.com ナイス福岡 事務局田村

今年も福岡市の実施する「**環境フェスティバルふくおか 2018**」に参加します。

実施日：10月20日(土)と21日(日)のいずれも10時から16時まで

場所：福岡市役所西側ふれあい広場

持続可能な開発目標[SDGs]の考え方を取り入れて、開催することです。
持続可能な開発目標[SDGs]は、貧困や不平等・格差、気候変動などの様々な問題を根本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。

2015年9月の国連サミットで、全会一致で採択。国連加盟193か国が
2016年～2030年の15年間の目標達成を目指しています。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲット、232の指標で構成されています。(福岡市の環境フェスティバル2018の資料より引用)

ナイス福岡は、従来通り「自然と遊ぼう、自然に学ぼう」と呼びかけます。

そのうえで、持続可能な開発目標の15番目の陸の豊かさを守ろう、

14番目の海の豊かさを守ろう、が大きな目標かな。

会員の皆さん、参加してください。



2016.10/23の一コマ

◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2018年度会費が未納の方、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費：2000円 郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

定例会に参加してみませんか？

次回の定例会は、**平成30年9月14(金)**後6時より事務局で行います。2018年9号の原稿は、2018年9/10(月)届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2018年9月の定例発送会は、山本弘子、藤川渡、永松愛子、田村耕作が参加。

この夏、実に猛暑の連続、エアコンのスイッチを躊躇なく使いましょうという声。野外に出ているいろいろな生きものを観察し、写真に写し込むのが楽しい。でも、猛暑の環境に自分の身をさらす気力がイマイチで、ついつい、室内で過ごしてしまう。この夏は、異常気象の現象で豪雨や超猛暑の連続に、どういう風に対処するのがいいのか、試行錯誤するしかないか。でも、影響は最小限にしたいと思いつつ、過ごしています。皆さんは、この夏、どんな対応されていますか。



挿し絵3点は、木村陽子さん提供